

『どうぶつのおやこ』

数内 正幸／画
福音館書店(E-ヤブウ)

ねこの親子、くまの親子、きりんの親子…。子どもたちの大好きな動物の親子が写実的に描かれている、文字のない絵本です。動物たちには呼びかけたり、おはなしを作ったり、自由に読んでみてください。

* その他のおすすめ本 *

『がたんごとんがたんごとん』

安西 水丸／さく 福音館書店(E-アンザ)

『いいおかお』

どい かや／作 主婦の友社(E-ドイカ)

『たまごのあかちゃん』

かんざわ としこ／ぶん
やぎゆう げんいちろう／え
福音館書店(E-ヤギユ)

『くつついた』

三浦 太郎／作・絵 こぐま社(E-ミウラ)

『くっくく』

長谷川 摂子／文 小川 忠博／写真
福音館書店(E-オカワ)

『ゆめにここに』

柳原 良平／作・絵 こぐま社(E-ヤナギ)

平成25年7月
編集発行：福島市立図書館 (TEL 531-6551)

【福島市立図書館】
○開館時間
月～土：10時～18時
日：10時～17時
○休館日
火曜日、祝日、月末図書整理日
○おひざにだっこのおはなし会
毎月第3木曜日 10時30分～

【福島市子どもライブラリー】
○開館時間
毎日：9時30分～19時
○休館日
火曜日
○おひざにだっこのおはなし会
毎月第1木曜日・第3日曜日 11時～

学習センター図書室については、各館にお問い合わせ下さい。

『ぶーぶーぶー』

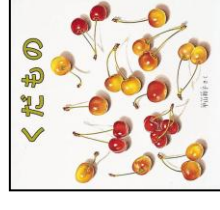
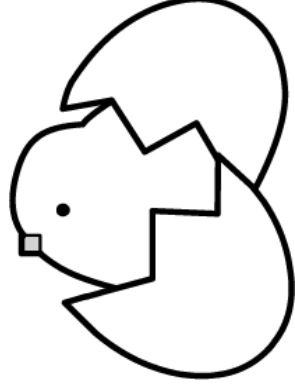
こかぜ さち／ぶん
わきさか かつじ／え
福音館書店(E-ワキサ)



赤い自動車は「ぶーぶーぶー」。青い自動車は「ぶーぶーぶー」。大きい自動車も「ぶわーん」とやります。

カラフルな自動車がそれぞれの音を鳴らしながら、次々と登場します。読んでいるうちに、子どもたちも思わず「ぶーぶーぶー」。

あかちゃん えほん 【0歳～】



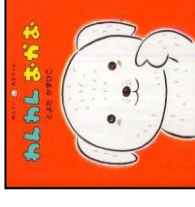
『くだもの』

平山 和子／さく
福音館書店(E-ヒラヤ)

そのままの姿と、食べやすく切られた形とで、交互に描かれたくだものがとってもおいしそう！「さあ どうぞ」の言葉に、思わず手をのばしたくなります。最後は自分でバナナの皮をむけるかな？

シリーズに『やさしい』『おにぎり』

『いちご』があります。



『わんわんおかお』

とよた かずひこ／著
アリス館(E-トヨタ)

いぬさんのおくち、ぶたさんのおはな、ねこさんのおめめ。「どーこ？」の問いかけに、動物たちが答えてくれます。赤ちゃんと一緒に指差しをしながら楽しく読めます。

シリーズに『ぷるんぷるんおかお』『まんまるおかお』があります。

* はじめに *

赤ちゃんにとって「生まれて初めてふれる本」は、絵本です。赤ちゃんを膝にのせて、できるだけゆっくり、心を込めて読んであげてください。それが親子のふれあいの場となり、赤ちゃんにとっても幸せな経験となります。

このリストでは、0歳位からの赤ちゃんにおすすめの絵本を紹介しています。絵だけで楽しむ絵本、赤ちゃんの身近にある「もの」の絵本、わらべうたの絵本…。ぜひ、赤ちゃんにお気に入りの1冊を見つけてあげてください。



『いないいないばあ』

松谷 みよ子／文
瀬川 康男／え
童心社 (E-セガワ)

動物たちが「いないいないばあ」をしています。にやあにやも、くまちゃんも、こんこんぎつねもみんな、いないいない…ばあ。さあ、今度はあなたも、いないいない ばあ！

ぜひ、赤ちゃんと一緒に遊んでみてください。



『きゅっきゅっきゅっ』

林 明子／さく
福音館書店 (E-ハヤシ)

なかよしのうさぎさん、ねずみさん、くまさんと一緒に、おいしいスープをいただきまーす。あらら、こぼしちゃった。「きゅっ きゅっ きゅっ」きれいにふいてあげようね。あれ、まだお口のまわりにこぼしている子がいるよ。だれかな？

シリーズに『おててがでたよ』『くつくつあけるけ』『おつきさまこんばんは』があります。



『だっこだっこ ねえだっこ』

長 新太／さく
ポプラ社 (E-ポプラ)

赤ちゃんはみんなだっこが大好き。だっこだっことおねだりも上手です。ねこもいぬもぶたもたこも…あれ？ ころころぼーるも、くつも、だっこが大好き。もちろん最後は、わたしもママにだっこ。

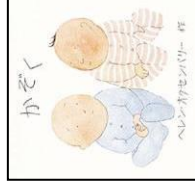


『もこもこもこ』

谷川 俊太郎／作
元永 定正／絵
文研出版 (E-モトナ)

なんにもない地面から、もこもこ、よきよきよき。なんだろう？ ふくれあがって、ぽくつと食べて、ぼろりと落とす。それがまたふくれあがって、ぱちんと弾けて、ふんふんわ…。

擬音とシンプルな絵で構成されています。自由な想像で様々なストーリーが楽しめます。



『かぞく』

ヘレン・オクセンバリー／作
文化出版局 (E-オウケ)

おかあさん、おとうさん、おねえちゃん、おにいちゃん、それから…。赤ちゃんの周りにいる人たちを描いた、文字のない絵本です。

シリーズに『あそび』『したく』『しごと』『ともだち』があります。



『ごぶごぶ ごぼごぼ』

駒形 克己／さく
福音館書店 (E-コマガ)

「ごぶごぶ ごぼごぼ」
「ふふふ ふわーん」
青やオレンジの丸が、音と共に大小に変化していきます。
水の中にあるような不思議な音と鮮やかな色。ページには丸い穴も開いており、視覚と触覚を使って楽しめる本です。



『じゃあじゃあ びりびり』

まつい のりこ／作・絵
借成社 (E-マツイ)

自動車や犬、掃除機などの身近な「もの」とその音が、シンプルな絵とはっきりした色で描かれていきます。
声を出してみたり、その「もの」のまねをしてみたりといろいろな楽しみ方があります。
「まついのりこあかちゃんのはほん」シリーズの1冊。